

実施要領

1 目的

慢性腎臓病（CKD）は重症化し末期腎不全に至れば人工透析等が必要となり、患者の健康やQOLが大きく損なわれ、医療費も高額となる。一方、早期に発見し適切な治療を行えば、健康寿命の延伸に加え、透析導入時期の回避や遅延による生涯透析年数の短縮が可能である。これらのことから、早期発見・早期治療による重症化予防が極めて重要といえる。

本県では、国保保険者が特定健診結果を活用したCKD予防対策として「医療受診勧奨」「保健指導」対象者を抽出し、香川県医師会等医療機関と連携し、早期受診勧奨等の支援体制を構築している。他の保険者においても積極的な慢性腎臓病対策に取り組むことが望まれることから、これら現行取組策の横展開に取り組んでいるところである。

香川大学医学部附属病院では、昨年度に引き続き、働き盛り世代への早期介入支援による発症及び重症化予防によって医療費適正化に寄与することを目的とする。

2 目標

- (1) 慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策の必要性を理解し、関係者間での情報共有ができる。
- (2) 医療現場や事業所等における予防対策への取り組みや産業医等と連携した医療と職場における患者に対する両立支援の体制を含め、関係者間で共有し協議できる。
- (3) 対象者の行動変容を促す具体的な介入支援内容や方法を把握することができる。
(療養指導等が必要な対象者への受診勧奨、保健指導の提供の機会の創出や指導方法の理解等)
- (4) その他、必要と認められる事項。

3 主催・後援 【主催】香川大学医学部附属病院（香川県慢性腎臓病対策協議会）

【後援】香川県・香川県医師会・香川県保険者協議会・NPO法人日本腎臓病協会

4 開催時期・場所・対象者

令和7年 12月 17日（水）13時30分～16時

開催地：香川大学医学部附属病院福利厚生施設2階 マルチスペース、参集（Web配信）

＜対象者＞香川県関係者（保健所含）・県内医療保険者（主に被用者保険 健康保険組合等）・企業関係者
産業医等、同対策に係る関係者、保健指導に従事する者等

5 内容（案）

I部（計75分） 13:30～14:20（50分） ・早期介入によるCKD予防対策の重要性、可能性	開会挨拶 香川県慢性腎臓病対策協議会 会長 南野 哲男 <講義 CKD対策の必要性の理解> 働き世代へのCKD対策～効率的、効果的な療養指導が受けられる環境づくり～ 講師 香川県慢性腎臓病対策協議会/香川大学医学部附属病院腎臓内科 祖父江 理 休憩（10分）
II部（計70分） 14:30～15:20 報告3者 ・働く世代への介入の難しさ（係る専門職の不足、効果的な指導技術獲得の困難さ） ・医療現場からみた働く世代等対象者への早期介入の必要性とその環境、体制構築への期待 15:20～15:40（20分） (意見交換10分) (まとめ10分)	<シンポジウム CKD対策療養指導への取組、これからの方針> 座長 香川県慢性腎臓病対策協議会/香川大学医学部附属病院腎臓内科 祖父江 理 <療養指導における課題とその対策> (1) 「地域と連携した働き世代への介入を試みて」 報告者 香川県国民健康保険団体連合会保険者支援課主事 平田友香（10分） (2) 「働く世代の健康管理（CKD対策等）を推進するための取組と課題」 報告者 全国健康保険協会香川支部保健グループ主任 三浦理恵子（15分） (3) 「地域ぐるみで取り組む健康増進事業の推進に向けて ～医療現場のCKD等指導の実情より早期介入予防の必要性を感じて～」 報告者 かがわ療養指導士の会 脊椎病療養指導士看護師 坪内 あゆみ（25分） <参加者間による意見交換> (提案事項) 香川県慢性腎臓病対策協議会及びかがわ療養指導士会と連携し、保険者協議会にて県内2-3箇所を指定、指導の機会確保

6 問合せ先

香川大学医学部附属病院 〒761-0793 木田郡三木町大字池戸1750-1

医療支援課医療連携支援係 八木

TEL (087) 891-2363 (ダイヤルイン)